

# 2017年3月期 第3四半期 決算短信補足資料

---

2017年2月

 全国保証株式会社

# 2017年3月期 第3四半期決算サマリー

- 新設住宅着工戸数は前年同期を上回るなど、貸家を中心に住宅市場は持ち直しの傾向
- 新規提携が進み、第3四半期累計期間にて銀行4行、信用金庫2金庫、JA8組合、労働金庫1金庫の合計15機関と契約締結
- 保証債務残高が堅調に推移したことにより、営業収益、利益は順調に推移
- 営業費用(与信関連費用)は代位弁済の発生が低位で推移したことを主因として、計画を下回る

---

# 決算の概要

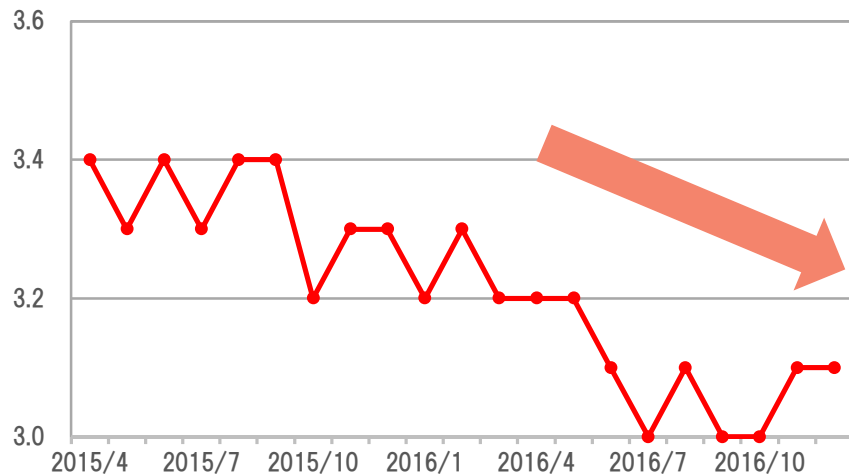
---

# 経済環境

- 景気は緩やかな回復基調が続いたものの、企業収益の改善に足踏みがみられ、海外経済の動向にも懸念が残るなど、先行き不透明な状況で推移
- 日本銀行のマイナス金利政策、政府の住宅取得支援策などを受け、新設住宅着工戸数が前年同期を上回り、貸家を中心に住宅市場は持ち直しの傾向となった
- 住宅ローン市場については、住宅ローン金利低下による借換需要の高まりに落ち着きがみられるものの、依然として金融機関相互による激しい案件獲得競争が続く

失業率(季節調整値)  
(2015年4月~2016年12月)

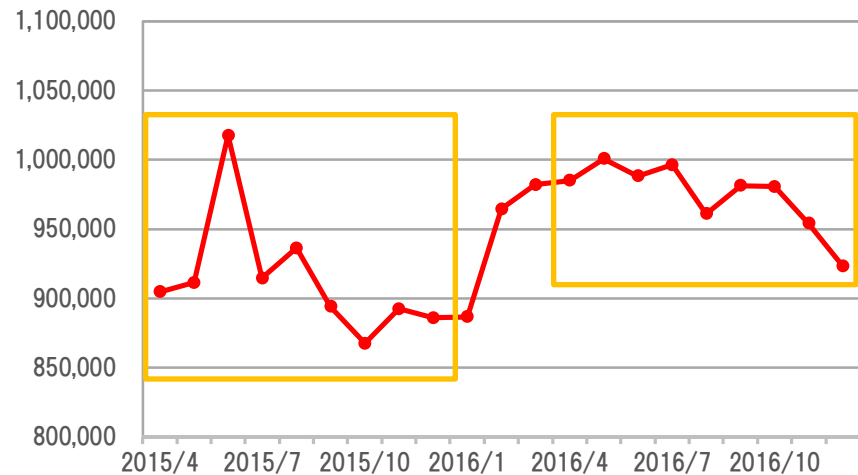
(単位:%)



出所:総務省 労働力調査

新設住宅着工戸数(季節調整済年率換算戸数)  
(2015年4月~2016年12月)

(単位:戸)

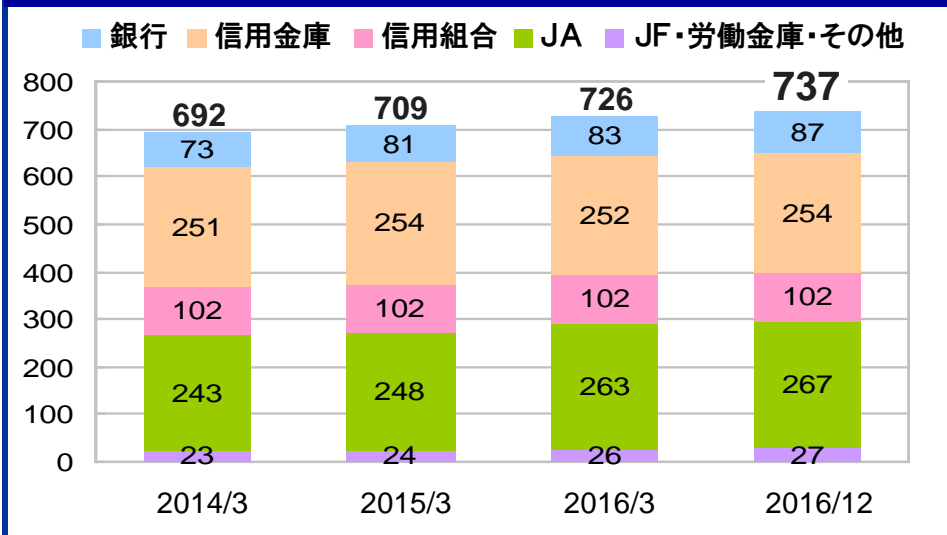


出所:国土交通省 住宅着工統計

# 提携金融機関数の拡大状況

## 業態別の提携金融機関数の推移

(単位:機関)

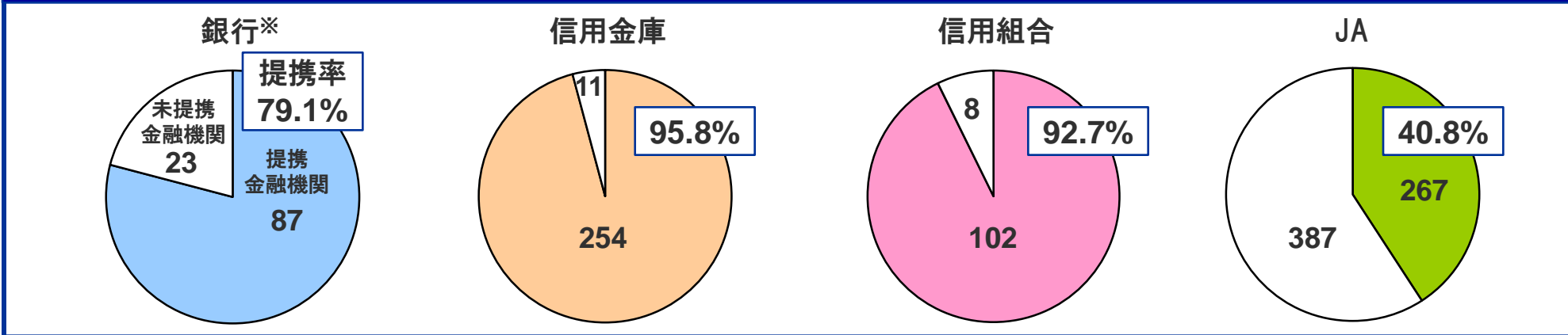


### ● 新規提携増加に努めた結果

2017年3月期第3四半期累計期間において  
銀行4行、信用金庫2金庫、JA8組合、労働金庫1金庫  
と契約締結

## 業態別の提携シェア

(単位:機関)

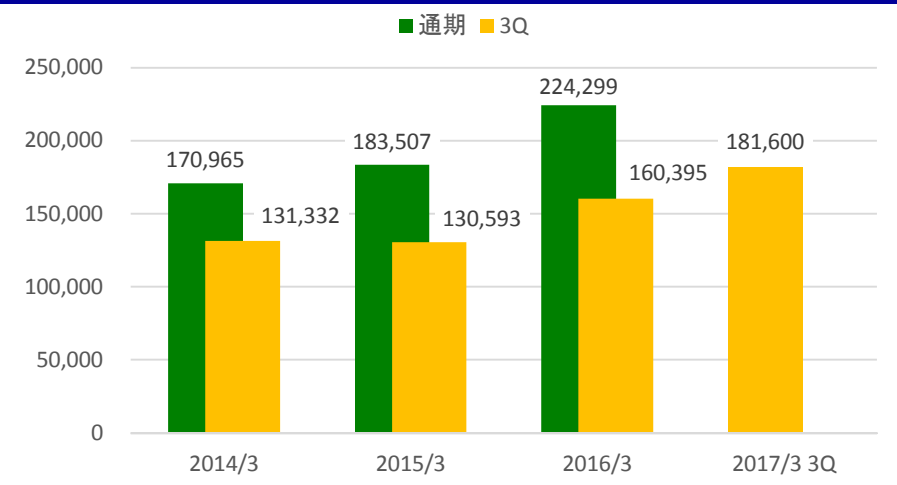


\*銀行は地方銀行、第二地方銀行、三菱東京UFJ銀行、三井住友信託銀行、りそな銀行、埼玉りそな銀行、イオン銀行の合計

# ローン保証業務の拡大状況

## 新規保証受付件数

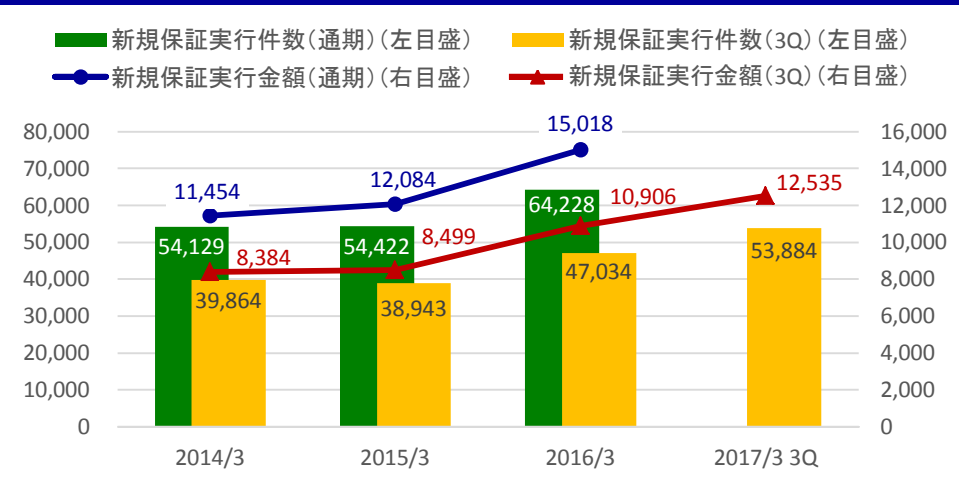
(単位:件)



※民間金融機関住宅ローン保証に係る数値

## 新規保証実行件数および新規保証実行金額

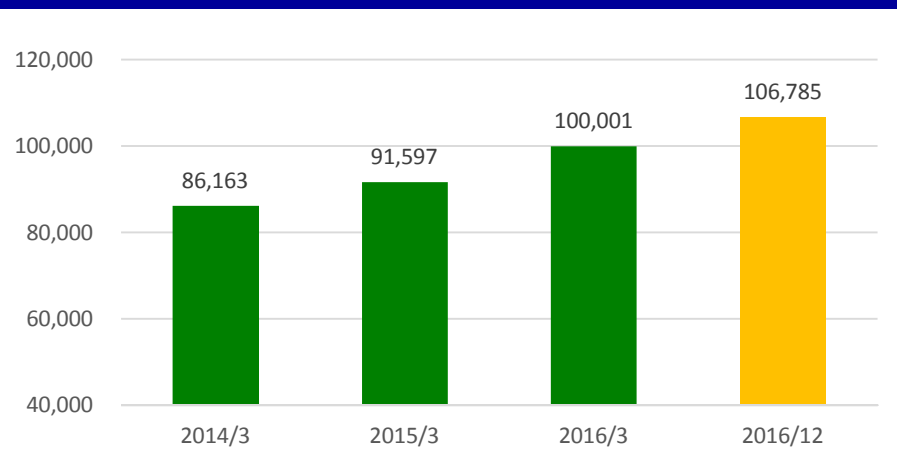
(単位:件、億円)



※民間金融機関住宅ローン保証に係る数値。2016/3の新規保証実行件数・金額(通常・3Q)には吸収分割によって承継した保証債務を含まない

## 保証債務残高

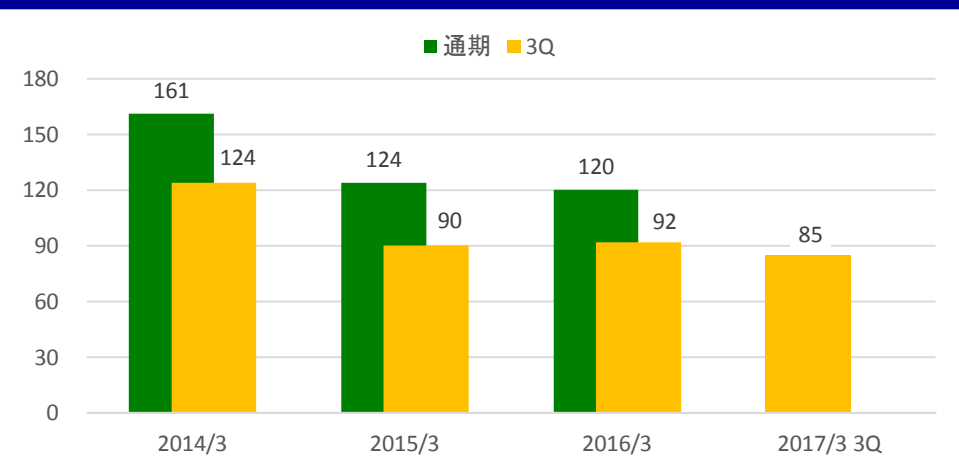
(単位:億円)



※ 当第3四半期会計期間の保証債務残高のうち、一部は推計値を使用  
また、2016/3以降の保証債務残高には吸収分割によって承継した保証債務を含む

## 代位弁済金額

(単位:億円)



# 2017年3月期 第3四半期決算サマリー(P/L)

(単位:百万円)

	16/3期 第3四半期	17/3期 第3四半期	前年 同期比
営業収益	18,951	21,400	12.9%
営業費用	4,811	5,978	24.3%
うち与信関連費用	1,064	1,821	71.0%
債務保証損失引当金繰入額	1,432	2,146	49.9%
貸倒引当金繰入額	▲367	▲325	▲11.4%
うちその他	3,746	4,157	11.0%
営業利益	14,140	15,421	9.1%
経常利益	14,933	16,145	8.1%
特別損益	—	▲454	—
四半期純利益	9,921	10,714	8.0%

## ポイント

● **営業収益**  
保証債務残高が堅調に推移したことにより、営業収益は214億円を計上。

● **営業費用**  
代位弁済の発生が低位で推移したことを主因として、与信関連費用は18億21百万円となった結果、営業費用は59億78百万円を計上。

※債務保証損失引当金の詳細についてはP.9参照

● **四半期純利益**  
上記の状況により、四半期純利益は107億14百万円を計上。

# 2017年3月期 第3四半期決算サマリー(B/S)

資産の部 (単位:百万円)			
	16/3期末	17/3期 第3四半期末	増減比
流動資産	176,377	184,276	4.5%
現金及び預金	149,289	159,710	7.0%
求償債権	11,989	12,819	6.9%
有価証券	7,077	4,871	▲31.2%
金銭の信託	10,291	10,118	▲1.7%
貸倒引当金	▲6,802	▲7,310	7.5%
固定資産	59,143	63,250	6.9%
投資その他の資産	58,527	62,684	7.1%
投資有価証券	50,374	52,811	4.8%
資産合計	235,520	247,527	5.1%

負債の部 (単位:百万円)			
	16/3期末	17/3期 第3四半期末	増減比
流動負債	27,071	23,497	▲13.2%
前受収益	13,476	14,289	6.0%
債務保証損失引当金	8,006	7,603	▲5.0%
固定負債	134,336	142,612	6.2%
長期前受収益	134,302	142,563	6.2%
負債合計	161,407	166,109	2.9%
純資産の部			
株主資本	74,278	81,205	9.3%
評価・換算差額等	▲221	120	—
純資産合計	74,112	81,417	9.9%
負債・純資産合計	235,520	247,527	5.1%

## ポイント

- **資産**  
新規保証実行件数の増加に伴い「現金及び預金」、「投資有価証券」が増加。
- **負債**  
保証債務残高の堅調な推移に伴い「前受収益」、「長期前受収益」が増加。



# 業績予想

(単位:百万円)

	16/3期	17/3期		前期比
		第3四半期	通期予想	
営業収益	31,918	21,400	33,780	5.8%
営業費用	6,793	5,978	9,540	40.4%
うち与信関連費用	1,380	1,821	3,600	160.9%
債務保証損失引当金繰入額	1,800	2,146	3,920	117.8%
貸倒引当金繰入額	▲419	▲325	▲320	▲23.6%
うちその他	5,412	4,157	5,940	9.8%
営業利益	25,125	15,421	24,240	▲3.5%
経常利益	26,303	16,145	25,140	▲4.4%
当期純利益 (四半期純利益)	17,204	10,714	17,290	0.5%

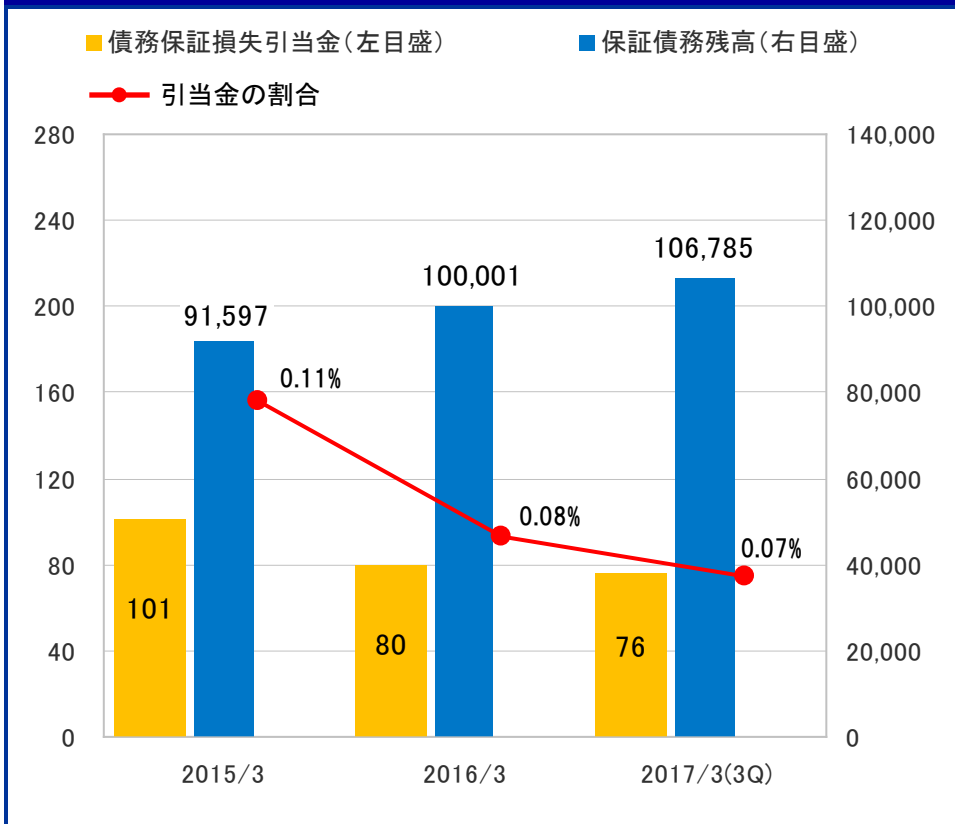
業績予想の前提	
保証債務残高	10兆8,120億円
新規保証実行件数	67,500件
代位弁済金額	13,530百万円
求償債権回収	8,310百万円

その他	
ROE	19.7%
配当金(1株当たり)	55円

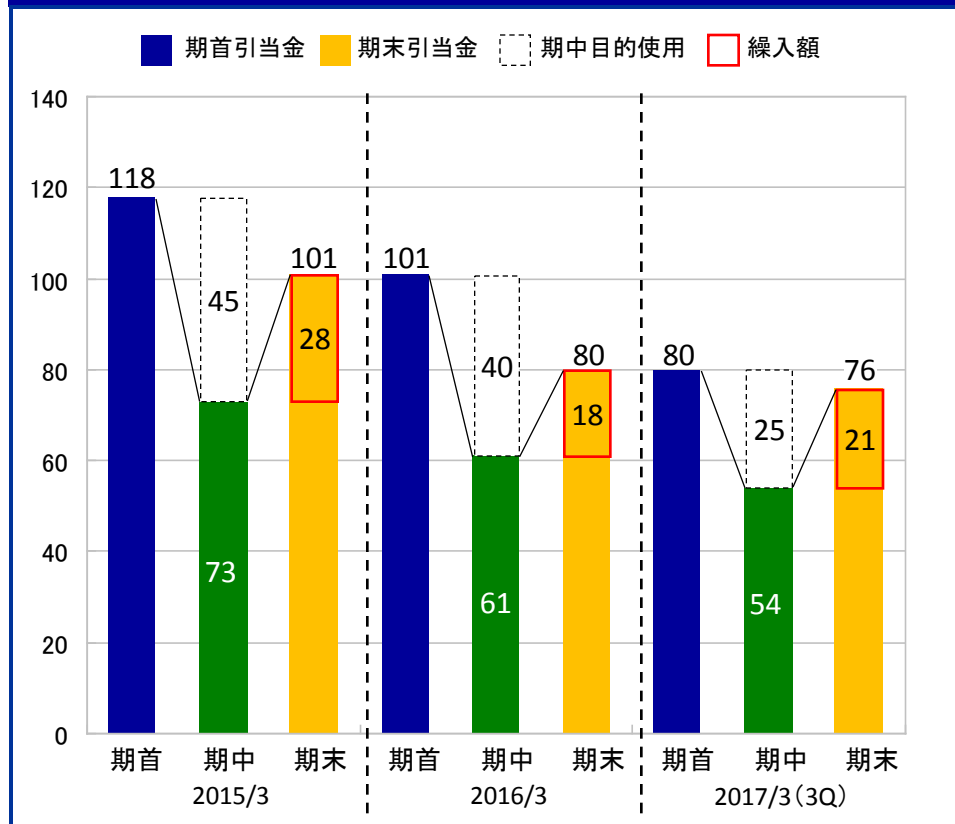
# 債務保証損失引当金について

- 保証債務残高に対する引当金の割合は低下
- 2017年3月期第3四半期の債務保証損失引当金繰入額は、代位弁済の発生が低位で推移したことを主因として計画を下回り、21億円となった

債務保証損失引当金、保証債務残高の推移 (単位:億円)



債務保証損失引当金の推移 (単位:億円)



※ 単位未満を切捨てているため、合計が一致しない場合があります